

# 事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0350/501010/08/00	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	小学校外国人英語指導助手招致事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	外国人英語指導助手招致事業		担当部課名	学校教育課		
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	小・中学校教育					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童				
	誰(何)を対象として	小学校児童				
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校での総合的な学習における英語活動と国際理解の学習を推進し、外国の生活・文化に慣れ親しむ。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校での総合的な学習における英語活動と国際理解の学習を推進し、外国の生活・文化に慣れ親しむような体験的な活動を実施する。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	実施日数	日	191	190	224	230

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.321	0.321	100.0	0.050	15.6		-	
	臨時職員	0.015	0.015	100.0	0.000	-		-	
支出内訳	人件費	3,843,976	3,511,439	91.3	1,174,635	33.5	697,572	59.4	
	事業費	5,026,048	4,697,540	93.5	4,697,540	100.0	5,040,000	107.3	
	合計	8,870,024	8,208,979	92.5	5,872,175	71.5	5,737,572	97.7	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	33,932	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	8,836,092	8,208,979	92.9	5,872,175	71.5	5,737,572	97.7	
	合計	8,870,024	8,208,979	92.5	5,872,175	71.5	5,737,572	97.7	

## 4 評価指標

### 【有効性】

指標名1		学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
日	目標	193	190	98.4	230	121.1	230	100.0	
	実績	191	190	99.5	224	117.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

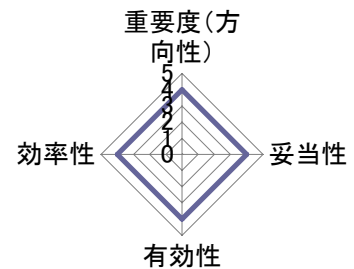
指標名1	年間経費								
指標説明(式)	JET外国人英語指導助手年間経費(17年度・18年度中途)及び民間会社外国人英語指導助手委託料(18年度中途・19年度)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
千円	実績	6,032	4,939	81.9	5,040	102.0	5,040	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	中教審の案案による、幅広い言語力や国際感覚の基盤を培うことを目的として、小学校高学年に週1時間程度の英語活動を導入することが示され、外国人英語指導助手による英語活動の必要性がさらに高まった。	4	4
	市民ニーズ	小学校での外国人英語指導助手による生の英語にふれ、英語に親しみが持てるようになった。		
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校での英語活動を推進し、英語に親しみが持てるようになった。	4	4
	市民サービス	小学校の児童へ効果的な英語活動が実施できた。また、国際理解の学習が推進できた。		
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による生の英語にふれる英語活動を推進した。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	小学校での外国人指導助手による英語活動により、児童の英語力等の向上が図れた。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	小学校での英語活動を推進し、児童の英語力等の向上を図る。

H19→H20予算反映額

(2) 20年度の実施方針

小学校での英語活動を推進し、児童の英語力の向上を図る。
-----------------------------

検討の有無	-
総合指標	22